
大湾区情報 No. 16

グレーターベイエリア情報 発行：2021年7月20日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【香港中文大学と上海復旦大学が生命科学・医学共同研究センターを設立】



6月30日、香港中文大学（以下「中文大」）と上海の復旦大学（以下「復旦大」）共同で設立した「生命科学・医学共同研究センター」の設立式典が開催されました。

中文大学長のロッキー・トゥアン（段崇智）教授は、「中文大と復旦大は長年にわたって緊密な関係を築いてきており、新型コロナ肺炎の流行にもかかわらず、両校が相互補完により、社会や人類の健康に有益な分野での協力関係を継続的に強化することができました。共同研究センターの設立は、まさに両者の目標の一致と共同の努力が具体化したものです。「中文大 2025 年戦略計画」では、中文大の優れた研究開発に基づいて科学研究を推進することが強調されています。戦略的研究分野の一つに「イノベーション生物学」があり、生命科学、遺伝学、ゲノミクス、精密医療（プレジジョン・メディシン）などの分野を学際的な研究テーマとして掲げています。共同研究センターは、両大学間の強固な協力関係の上に成り立っており、それぞれの研究の専門性をさらに高め、両校の質の高い研究資源を活用するための、より制度的で実体化されたプラットフォームを提供します。双方の共同作業により、実りある結果が得られると信じています。」とスピーチしました。

復旦大学長の許寧生教授は、「香港は大湾区の中心都市として、地区発展のコアエンジンとなり、国家の発展に極めて重要な役割を果たしています。中文大は復旦大の香港での重要なパートナーであり、2001 年から現在に至るまで、両校は戦略的協力関係を数多く築き、両校と両地の学術交流を促進してきました。生物医学分野は交差性、統合性、応用性を具えており、復旦大と中文大は生物医学分野で様々な研究を行っていながらも、それぞれの重点項目が異なることから、補完的な協力を行うことは大きな利点をもたらすこととなります。生命科学・医学共同研究センターは、両校の研究交流をさらに深め、生命科学・医学分野での長期的な協力体制を築くと同時に、科学研究や産業形態の転換などの重要課題をしっかりと理解し、新興分野の発展を促進していきます。両校は将来において引き続き誠心誠意をもって協力し合い、共にイノベーションを推し進め、「世界に通用する大学」の構築に向けてお互いに見守り、助け合い、前進していきたいと思えます。」と述べました。

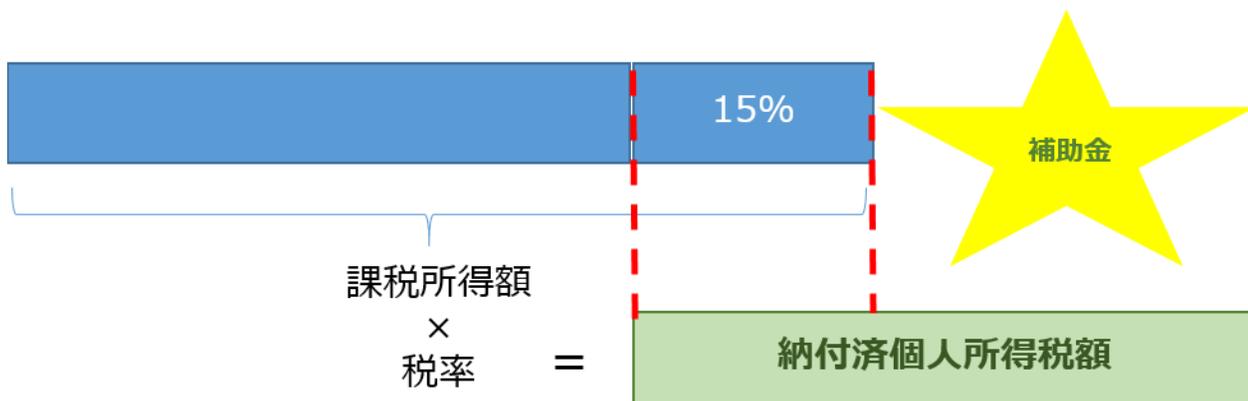
共同研究センターでは、生命科学と生物医学に関連する幅広い分野に焦点を当て、その中でもゲノミクスと遺伝性疾患、精密医療、発育・幹細胞と再生、学際

的な相互扶助の4つのテーマに注力しています。同センターではまた、健康と疾病における人体の分子、細胞、組織、個体といった多次元的な研究を行い、様々な分野の研究を体系的かつ最先端の方法にて統合を図ります。また、地域や分野を超えた協力関係を構築し、トップレベルの研究基盤の構築、および人材育成のために、世界中の研究者が意見交換できるプラットフォームを提供します。

【広東省・香港・マカオ大湾区個人所得税優遇政策申請開始】

大湾区の建設に必要な人材の就労を誘致するべく、2019年1月1日から2023年12月31日まで、大湾区内の中国9都市*で勤務する海外ハイレベル人材と緊急不足人材を対象に、当該都市で納付済の個人所得税金額のうち課税所得額の15%を超過した部分に対して補助金が与えられるという政策が2019年度から始まっており、2020年度に支払った個人所得税を対象とする申請受付が一部都市ですでに開始されています。

本政策では所得額が高くなるにつれ、享受できる補助金が多くなります。また、当該補助金収入に対して個人所得税は徴収されません。



*大湾区内の中国9都市とは広州、深圳、東莞、中山、珠海、惠州、江門、仏山、肇慶を指します。

2020年度個人所得税対象補助金の申請スケジュール：

都市	広州	深セン	珠海	仏山	惠州	東莞	中山	江門	肇慶
開始日	2021/ 7/1	未発表 ※	2021/ 7/1	2021/ 7/1	未発表 ※	2021 /7/1	未発表 ※	2021 /7/1	未発表 ※
締切日	2021/ 8/31	未発表 ※	2021/ 8/15	2021/ 8/20	未発表 ※	2021 /8/15	未発表 ※	2021 /8/15	未発表 ※

※未発表地区についてはお問合せください。

申請の有資格者：

下記1) および2) を共に満たす者が個人所得税補助金申請の有資格者となります。

- 1) 香港、マカオ永久居民、香港入境スキーム（優秀人材、専門家、企業家）資格を保持している香港居民、台湾地区居民、外国国籍者または中国国外長期居住権保持の海外留学帰国人材および海外華僑とし、大湾区内の中国9都市で勤務し、納税している者。
- 2) 各都市による個別の条件を満たす者（一般的に関連する可能性が高い条件のみ一部抜粋）
仏山市、中山市：外国人就業許可証A類、B類保持者
広州市、惠州市：外国人就業許可証A類保持者または部長以上の管理職
東莞市、江門市、珠海市：外国人就業許可証A類の保持者或いは緊急不足人材リストに該当する者
肇慶市：外国人就業許可証保持者、または国際的に認可されている専門資格を持っている者

※補助金が最終的に取得できるか否かは、各市の科技局と人社局などの審査次第となります。

【脳卒中リスクを分析する眼底写真：グローバル高齢化時代において大湾区でチャンスをつかむ香港企業】



香港企業が、1枚の眼底写真から脳卒中や心血管疾患のリスクを分析できる網膜画像解析システムを発売しました。同企業は中国本土に進出し、高齢化社会がもたらす巨大マーケットを狙います。

Health View Bioanalytic社は2014年設立の香港企業で、特殊なカメラで眼底写真撮影、クラウドシステムへのアップロード後、眼底下の血管情報を解析し、わずか数分で被検者の脳卒中や心臓病などの心血管疾患のリスクレポートを作成するという特許技術「自動網膜画像解析システム」(ARIA)を擁しています。被検者はデータに従って生活習慣を整え、食事や運動に気を配ることで、病気の発症リスクを大幅に減らすことができます。この技術は、米国(2014年)、中国本土(2017年)、台湾(2017年)での特許取得に成功しています。

ビジネス・デベロップメント・マネージャーのクー氏は、「眼底写真の画像から、脳室周囲白質軟化症や認知障害、さらには糖尿病の発症リスクを見つけることが可能です。眼底には脳につながっている血管や神経が多くあるため、それらの分析は貴重な情報源であるといえます。弊社はかねてより眼底写真から脳卒中や認知障害を判定する商品を市場に送り出していましたが、眼底写真には様々な情報が含まれており、例えば、自閉症患者の視神経乳頭と眼杯は直径が著しく大きく、ARIA 技術は自閉症患者の感度を 96%、識別力を 91%それぞれ識別することができるため、今後、技術の向上に伴い、さらに新たな製品が開発される可能性もあります。」と述べています。

Health View Bioanalytic 社は現在、香港の眼鏡店、NGO のヘルスサービスセンター、老人ホームなど 30 以上の異なる法人団体とビジネスを行っていますが、その反応は非常に良好であったことから、将来的には、同社の製品や技術を中国本土に展開することを計画しています。「新型コロナ肺炎の影響で人々の健康志向が高まり、人口の高齢化も大きく進んでいることから、香港や中国本土ではこの技術の巨大なマーケットが生まれるでしょう。香港政府も香港のイノベーション・テクノロジー企業が中国本土で大きく発展することを支援してくれています。」とクー氏は述べました。

また同氏は、「広東省、香港、マカオの金融・経済における相互接続により、大湾区はかつてないほどの大きな発展の波が押し寄せてきています。中国は科学とイノベーションを促進するための努力を惜しまず、数多くのインセンティブと政策を用意しています。多くの香港の起業家は、「まずは様子見」と思っているようだが、実際にはすでに遅れをとってしまっています。今、世界は人材の奪い合いをしており、また大湾区の将来への期待が高まっています。香港は一番近い都市であり、もうチャンスはすぐ隣にあるのです。」とも述べています。

【参考資料】

- [香港中文大学と上海復旦大学が生命科学・医学共同研究センターを設立](#)
- [「広東省・香港・マカオ大湾区における個人所得税の優遇政策に関する通知」
\(財税【2019】31号\)](#)
- [「広東省・香港・マカオ大湾区における個人所得税の優遇政策の継続実施に関する通知」
\(粵財税【2020】29号\)](#)
- [脳卒中リスクを分析する眼底写真：グローバル高齢化時代において大湾区でチャンスをつかむ香港企業 \(香港経済日報 2021年6月16日\)](#)